

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 1 日 (2006.6.1)

【公表番号】特表 2002-514473 (P2002-514473A)

【公表日】平成 14 年 5 月 21 日 (2002.5.21)

【出願番号】特願 2000-548023 (P2000-548023)

【国際特許分類】

A 6 1 M 1/36 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 1/36 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 5 日 (2006.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】 可撓性静脈レザバーと容積制御装置との組合せであって、前記可撓性静脈レザバーが、上部外周を有した血液貯蔵室を形成する可撓性の壁と、前記血液貯蔵室に対する入口及び出口とを備え、前記血液貯蔵室が前記入口と前記出口との間に前記血液貯蔵室を通る血流経路を形成し、前記容積制御装置が、

パネルと、

圧力板と、

前記可撓性静脈レザバーが前記パネルと前記圧力板との間に両者に接触して配置され前記可撓性静脈レザバーの最大容積を調節可能に制限できるように、前記圧力板を前記パネルに移動可能に取り付けるための調節可能な取付手段と、を備え、

前記血液貯蔵室に対する前記圧力板の寸法が、前記入口から前記出口まで前記血液貯蔵室の前記上部外周に沿って血流通路が前記圧力板によって覆われずに残るようになってい、可撓性静脈レザバーと容積制御装置との組合せ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】 前記調節可能な取付手段が、

一方の端部を前記圧力板に接続された横断アームと、

前記横断アームを前記パネルに対して相対移動させ前記横断アームを予め定められた位置に保持するための位置調節装置と、を備える、請求項 1 に記載の組合せ。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】 前記第 1 アームが前記パネルと固定された関係で取り付け可能な取付フレームを備え、該取付フレームが各々貫通開口を有した 2 つのハブ部分を含み、

前記第 2 アームが第 1 端部及び第 2 端部を有したレバーを構成し、

前記位置調節装置が、さらに、前記取付フレームに前記レバーの前記第 1 端部を旋回可能に取り付けるために前記レバー及び前記取付フレームの前記貫通開口を通る軸を備え、

前記横断アームが前記レバーの前記第 2 端部に接続され、前記トラニオンが前記第 1 端部と前記第 2 端部との中間で前記レバーに取り付けられている、請求項 5 に記載の組合せ。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

好ましくは、熱融着領域 28 内の一連の穴 42 が、レザバー 20 を支持するために使用される。高分子材料からなる微細な網から形成され袋状構造の可撓性静脈レザバー 20 内に配置されたスクリーン 43 は入口 30 及び 32 の両方を通して進入する血液を受ける。大部分の動作条件では、全ての血液がスクリーン 43 を通過して出口 34 に到達しなければならないが、まれな条件では出口に向かう血液のバイパス経路としてスクリーンの上縁 44 が開口した状態になる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

容積表示器又は位置表示器及び / 又は駆動モータの代替的な連結装置が図 5 に仮想線で概略的に示されている。この代替的な連結装置は、ケーブル連結装置 200 と、ケーブル連結装置を駆動し又は血液貯蔵室 21 の最大容積又は圧力板 62 の位置を表示するための手段 202 とを備えている。この代替態様のケーブル連結装置 200 は親ねじ 112 の後端に接続されており、ケーブル 200 は親ねじ 112 が回転するに伴って回転するようになっている。手段 202 は、単に、例えば灌流技師の裁量で別の場所に取り付けられたダイヤル表示器 122 といくつかの点で類似のダイヤル表示器、駆動モータ、及び / 又はコンピュータ又はディスプレイとの電気機械的連結装置とし得る。もちろん、他の位置センサ又は駆動手段が代替的に利用されることもあり、噛合歯車のようなさらに別の中間運動機構が設けられることもある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 1 】

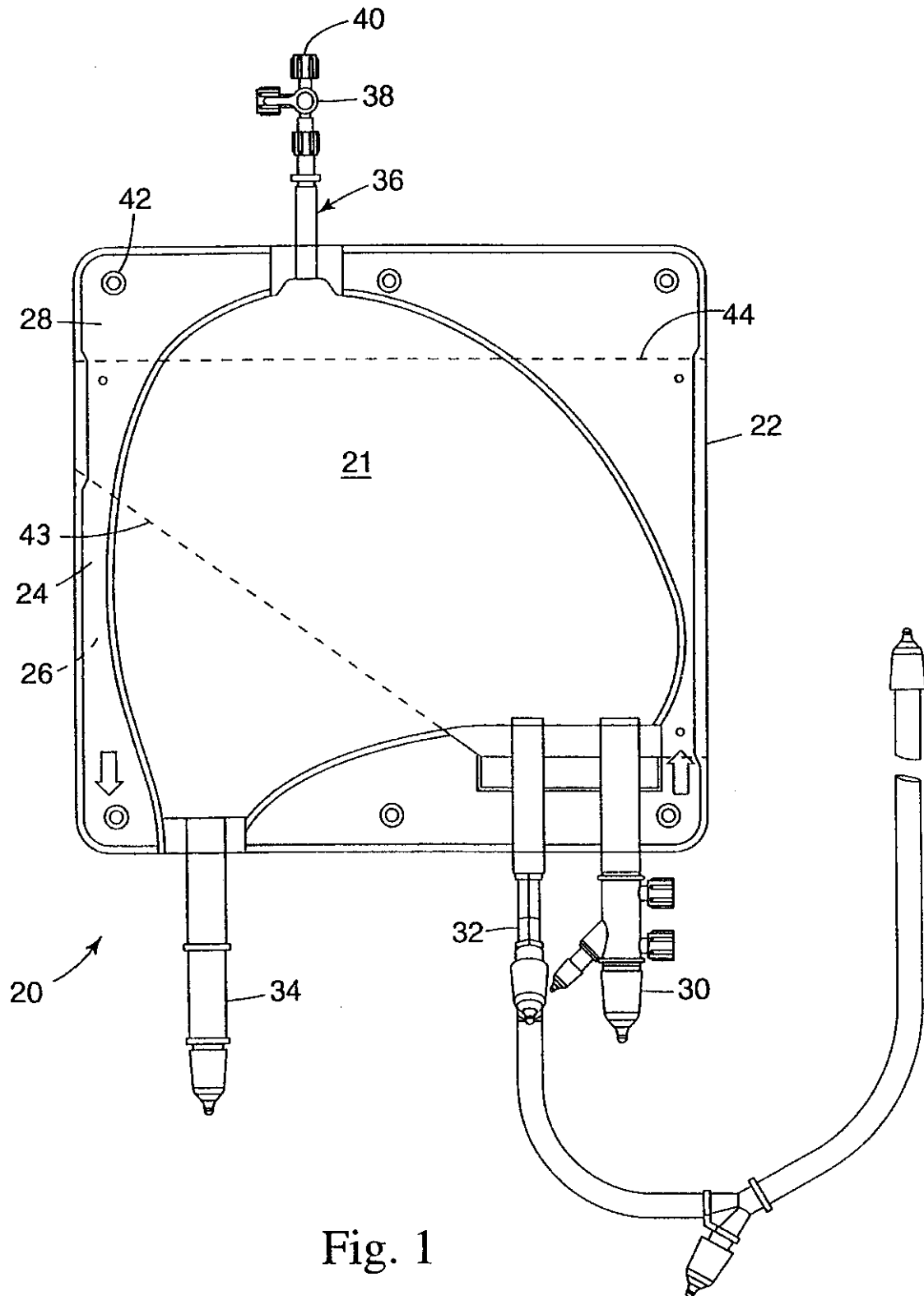


Fig. 1

【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 4 a

【 補正方法 】 変更

【補正の内容】

【図 4 a】

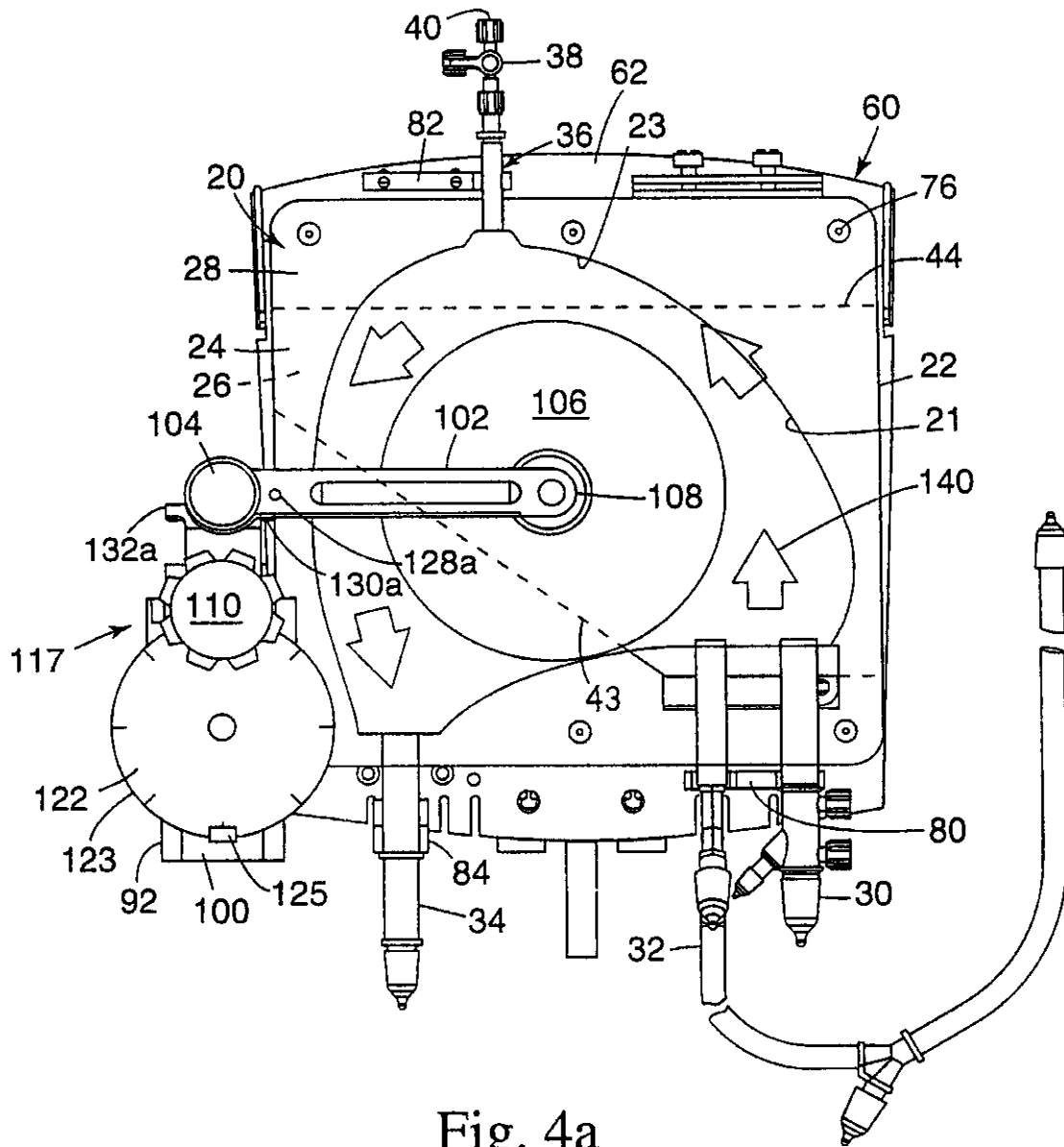


Fig. 4a

【手続補正 8】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4 b

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 4 b 】

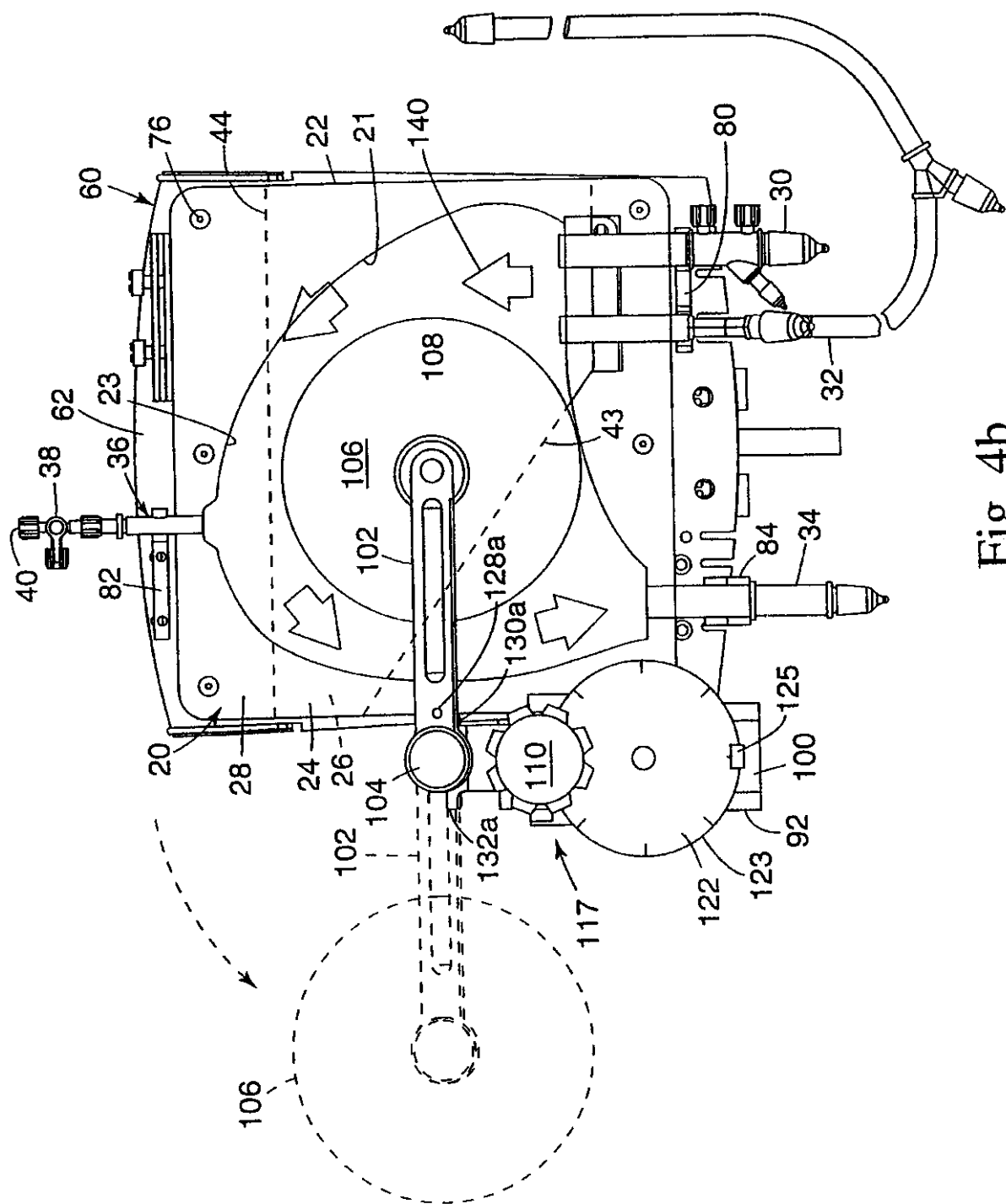


Fig. 4b